

仕える祝福

▼関東聖化交友会々長 ウェスレアン・ホーリネス
教会連合浅草橋教会牧師 黒木安信



「人の子は仕えられるためではなく仕えるために、また、多くの人の身代金として自分の命を献げるために来たのである。」(マルコ一〇・四五)

今秋も各地で「聖化大会」が開かれる。今日までこうした大会のために、どれだけ多くの「仕える」という奉仕の業が為されてきたことであらうか。感謝せずにはおれない。

「仕える」という言葉は、元々、
「食卓の世話をする」という意味を持つているように、極めて具体的な営為である。同時にまた時間をささげ、体力、経済など、それぞれに必要な犠牲も伴う。

その際、どのような動機で仕えていくのか、このことはとても重要である。もちろん人にはできる限度がある。しかし、「レプトン銅貨一枚」のような小さな奉仕の業でも、聖い動機を持って主にささげられる限り、主に受け入れられるのである。

自分の利・不利、ましてや損得勘

定て「仕える」営みが為されていくならば、型どおり事は見事に運ばれても、神の栄光は現されない。そこには聖霊なる神の働かれる余地がないからである。

「十字架の死に至るまで従順に」仕えていかれた主の深い御心と実践の前に、心低くされて「仕える」祝福の道を学びたい。

今一つのこととは、主イエスにあっては、この「仕える」ことは「献げる」とことと一体であったという事実である。人の子は、「自分の命を献げるために来たのである」と。

「献げる」(与える)という用語の背景には「聖餐式」に示されている内実があると言われるが、「贖う」と深く関係している。この理解はテモテ、テトスの手紙にも受け継がれ、初代教会にとつての福音の本質に関わる出来事であったことが分かる。

ある人は、へ神の永遠の神性は、「与

えること」にあります。それが神の至高の本質なのですと述べ、へ仕えることは、愛のもつとも自然な発露です」と記している。

私たちがこの「仕える」というささやかな営みを聖い動機を与えられて、信仰の具体的な実践として果たさせていたきたい。そのとき神は私たちの小さな、取るに足りないような奉仕でもそれを聖別し、畏れ多くもご自身の「身代金」として献げる」福音の本質にまで高めてくださるはずである。

「奉仕をするためには、確かに、強い勇気と柔和な勇気が必要とします。特に、それを継続するには勇気が必要とします」ともある。

願わくは聖霊の限りなき御執り成しをいただきつつ、主の教会のため、福音宣教のため、そしてまた求められるその場、その時にふさわしく、心低くされて主の来たりたもうその日まで、主が仕えられた御足の跡に続きたい。

青年牧師による分科会講演(抜粋)

聖化の再発見と青年へのアプローチ

▼みどり野キリスト教会

お友だち、ユース担当牧師

西村 希望

青年へのアプローチ、教会が青年のために献身する

青年連に焦点を合わせる

どれほど教会は青年連に焦点を合わせているでしょうか。ほとんどの教会が焦点を青年に合わせるのではなく、成人に向けている状況です。常に焦点が大人に合い、大人中心の教会、大人主体のプログラム、働きになっていきます。教会はもつと若者たちに焦点を合わせ、彼らのニーズに応える働き、伝道をする必要があります。

しかし、現状は青年、特に子どもへの働きがさびしいものになっています。このままではさらに厳しい状況に教会は置かれてしまいます。大人は、子供や若者対象のプログラム、働きに合わせることはできて、子供

は大人中心のプログラムに合わせることは、とても難しいです。極論を言うならば、大人はほうっておいてもひとり生きていける術を知っています。しかし、子ども、青年はひとりでは生きていけない弱い存在です。今、児童虐待など悲しいニュースがあふれている時代ですが、親が子育てをしなかつたなら、子供たちは死んで行くのです。子供、若者を育てるには手がかかりま

日本の牧師の年齢別割合

20代	1・2%
30代	13・2%
40代	19%
50代	24・6%
60代	26・9%
70代	14・9%

す。余計な負担、犠牲を伴います。しかし、教会までも彼らを放棄したのなら、どのようになってしまうのでしょうか。まず教会がすべきことは、彼らに焦点を合わせる事です。また別の角度から、教会が青年たち

に焦点を合わせることで、理由は、高齢化社会の流れが教会にも影響を与えているからだと来があります。献身に導き、正

しく育て、力を注ぎ、訓練していくならば主の働き人となる可能性は非常に大きいのです。これからの彼等には大きな期待があります。青年たちはリバイバルの鍵をにぎっています。5年後、10年後の教会を考えると、彼等はこれからの教会をリードし建てあげていくパワーをもっています。教会はその場のことの対応ばかりに追われていないで、将来を見、彼等に焦点を合わせ、育てるべきです。

私の奉仕している教会では、4月からチャーチスクールを始め、毎日元気よく教会に来て、勉強をしています。この働きのビジョンは、人格形成の一番大切な時期を信仰によって育てること、そして将来の主の働き人を小さい時から着実に育てることです。感謝なことは学校に来ている子供たちのほとんどが、将来を働き人として献げるといふ信仰を持っている事です。(第16回関東聖化大会・青年牧師による分科会にて)

●第16回東海聖化大会

▼日時 11月13日(木)
▼講師 デニス・アップル
▼会場 福音センター(インマヌエル名古屋教会)

●第8回山形聖化大会

▼日時 9月23日(火)
▼講師 工藤弘雄師(日本イエス・キリスト教団香登教会)
▼会場 基督兄弟団米沢教会

●第15回宮城聖化大会

▼日時 9月23日(火)
▼講師 本間義信師(ウェスレアン・ホーリネス教会連合、連合ホーリネス中央教会)
▼会場 C・日クリスチャンセンター



「今こそホリネスの輝きを」～聖化大会に期待して

第18回関東聖化大会実行委員長

チャーチ・オブ・ゴッド瀬谷グレースチャペル、横浜港南キリスト教会牧師

伊藤 昭吉

今年にはジョン・ウェスレー生誕三百年記念の年になります。そこで関東聖化交友会は今年の聖化大会に、ジョン・ウェスレーに造詣の深いデニス・アップルビー博士を講師としてお迎えすることに致しました。

デニス・アップルビー博士は、英国に生まれ、英国陸軍看護部隊に勤務中に回心し、インマヌエル聖書学校に入学、その後英国の三つの教会で二十七年間、牧会を経験されました。その後、米国からの招きで、ミシシッピ州のウェスレー聖書大学の教授として奉職され、またワールド・ゴスペル・ミッションの国際牧師（宣教師）のための牧師として奉仕され、多くの人々に慕われました。今回、博士から二回の聖化と青年大会でメッセージを頂くことになっております。存分に恵みを受けることができると期待しています。

今大会のスローガンは「今こそホリネスの輝きを」です。これは今年四月から関東聖化交友会の会長に就任された黒木安信先生の折りと私から出たもの生話における「ホリネス」こそが肝要であると説かれてイザヤ書六〇章一節から「起きよ、光りなを放て」のみことばをもって私たちが励ましてこられました。この理念は今大会全体に響き渡ることでしょう。

今回の邦人講師による講演は、ウェスレーの著作を世に出すことに情熱を傾けてこられた。インマヌエル船橋教会牧師である竿代忠一先生にお願いいたしました。

第18回関東聖化大会・11月9日(日)～11日(火)於淀橋教会

した。先生の演題は「ウェスレーに生きる」です。先生のこれまでのウェスレー研究の成果の一端に触れることが出来るのとは今より期待に胸を膨らませております。

昨年大変好評だった「青年聖化大会」を今年も計画してあります。十一月九日午後五時からいよいよこの大会に出席され、神が姉がこの大会に答えて立ち上ることを祈っております。

また、今では恒例になった青年牧師による分科会が今年も三日目午後には計画されています。これはホリネスの継承の問題を単に経年的踏襲としてではなく、今日的な問題意識の中でホリネスを捉えて行こうとする意図と情熱が四つ組されたプログラムです。熱々のグループに分かれて行います。

聖会第三夜には、これまで恒例の古波津保秀先生指揮による神学生合同のコーラスがありまます。これは何回聞いても感動を新たにさせられます。コーラスとながら、若い神学生たちが、こよがて宣教と教会形成のために日本の各地に、そして世界の全土に派遣されて行くことを思うとき胸の高鳴る思いがいたします。今大会のテーマである「今こそホリネスの輝きを」がそのまま日本の諸教会の輝きとなるべく、今大会を垣間見る思いになるひときわ姿を切願しております。

今大会に諸師、諸兄弟姉が多くなります。

主講師プロフィール

一今年の関東、東海、大阪、岡山、九州の各聖化大会一

デニスアップルビー博士

Dr. Denis Applebee



デニス・アップルビー博士は、英国に生まれ、英国陸軍看護部隊に勤務中に回心し、インマヌエル聖書学校に入学、その後英国の三つの教会で27年の間、牧会を経験され、その後、インマヌエル聖書学校の校長を務められました。

1982年、米国からの招きで、ミシシッピ州の、ウェスレー聖書大学の教授として、また、ワールド・ゴスペル・ミッション (WGM) の国際牧師・カウンセラーとしての働きに就かれました。1996年に引退される迄の14年間、WGMが派遣している20カ国の宣教師の為の牧師として、多くの人々に慕われました。引退後英国に戻られましたが、現在も壮健で、世界を廻って聖会やセミナーの奉仕に当っております。特に日本伝道に対しては若い時から重荷を持ち、日本伝道隊の理事を長い間勤めて来られました。過去十数回来日して、多くの教会で良き奉仕をしておられます。

アップルビー博士は、メアリー夫人との間にジョナサン君、グレースさんの二人の子供さんと与えられました。現在グレースさんは、WGMケニア宣教師として活躍しておられます。

●第14回九州聖化大会

▼日時 11月18日(火)
▼講師 デニス・アップルビー博士
▼会場 基督兄弟団福岡教会 (福岡市)

●岡山聖化交友会・聖化大会

▼日時 11月17日(月)
▼講師 デニス・アップルビー博士
▼会場 日本イエス・キリスト教団香登教会

●ジョン・ウェスレーに学ぶ会 第45回公開講座・聖会

▼日時 11月14日(金)
▼講師 デニス・アップルビー博士
▼会場 ナザレン大阪桃谷教会

